

インド プレキャストコンクリート製品を活用して 社会基盤整備を加速

国際協力機構(JICA)は2月27日、「2014年度第2回中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において、トヨタエ機株式会社(東京都府中市)、ランデス株式会社(岡山県)、不二コンクリート工業株式会社(佐賀県)、株式会社武井工業所(茨城県)が共同提案する「社会基盤整備を加速するプレキャストコンクリート製品の普及に向けた案件化調査」(インド国)を採択しました。

インドでは、急速な人口増加や都市化が進んでおり、道路や河川の護岸工事など、社会基盤の整備が急務となっていますが、未だこれらが脆弱な地域も多く、雨期の集中豪雨等によって、河川の氾濫、洪水、道路の冠水、住宅の浸水などが起きています。

提案企業の一つ、トヨタエ機はプレキャストコンクリート製品(工場等であらかじめ製作されたコンクリート製品。天候等に左右されることなく、高品質で均一な製品ができる。)の型枠を製造しており、0.5mm単位での高い精度を保ちながら、型枠を作ることが可能です。また共同提案企業である三社は、それぞれ河川の護岸、道路法面の擁壁、排水溝等のプレキャストコンクリート製品の製造について、それぞれが特色ある製品や高い技術力を有していることから、工期の短縮や高品質なインフラ構造物の施工が可能であり、同国のインフラ整備促進に貢献することが期待されています。



冠水した道路



PC型枠製品と適用例の一部
(排水溝及び護岸)

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2014年度第2回目は昨年11月に公示を行いました。129件の応募のうち25件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 国内事業部中小企業支援調査課 有村(案件担当)、野村(広報担当)
TEL 03-5226-9283 e-mail: pdtfs@jica.go.jp